

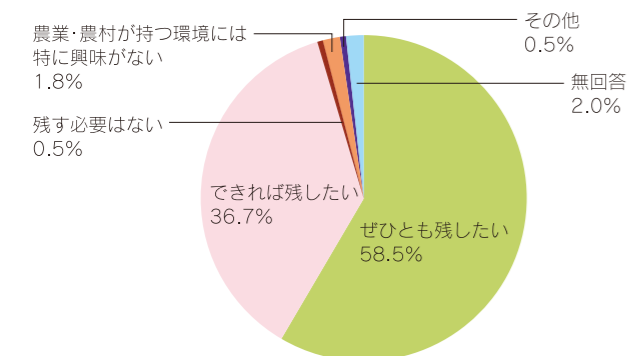
美しい農村をいつまでも…！ 県民の願いを未来への力に

[アンケート調査から見た県民意識]

農業・農村が持つ多面的機能や役割について、みなさんがどんな考えや思いを持っているのでしょうか？
 県民2,000人を対象にしたアンケート調査(平成20年10～11月実施)から探ってみました。

？ 農業・農村が持っている多面的機能を次の世代に残したいと思いませんか

半数を超える県民が「ぜひとも残したい」と答えました。「できれば残したい」という回答とあわせると、実に95%以上の人たちが将来へ残したいと願っています。

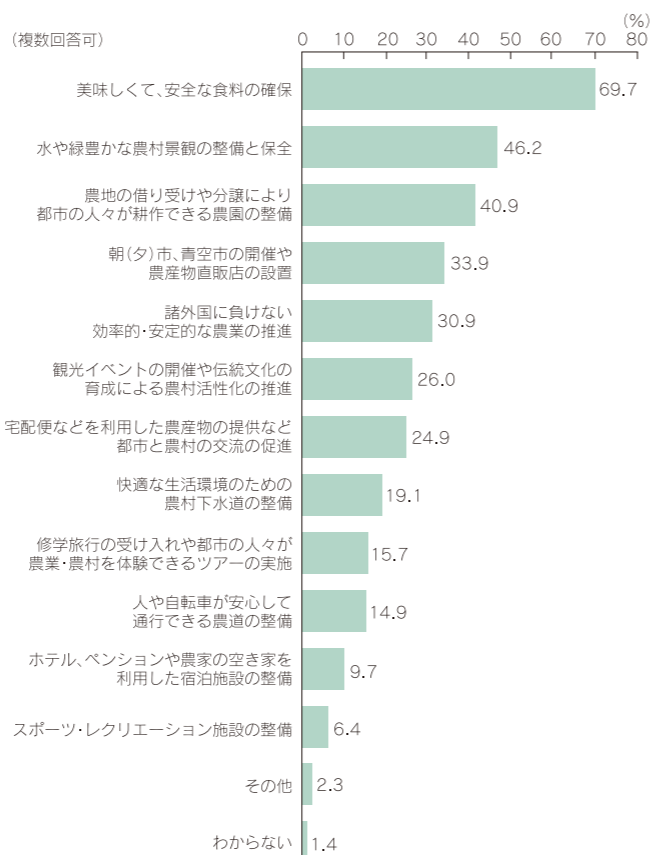


富山のみんなの農村への思いは？



？ 今後、住民はもちろん都市の人々からも親しみ愛される農業・農村づくりのためにどんなことをすればよいと思いませんか

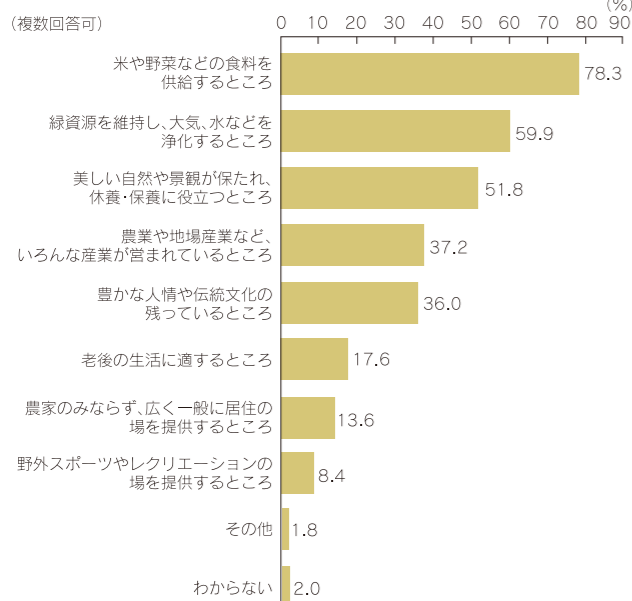
望ましい農村の姿と同様に、おいしくて安全な食料を生産する場としての役割がもっと強化されることが大切と思っている人が多いことが明らかになりました。



アンケート調査は富山県内に住む満20歳以上の男女2,000名を無作為抽出して実施し、有効回答数は766で、回収率は38.3%でした。なお回答者の内訳は、農業者29%、非農業者69%(無回答2%)となっています。

？ 今後の望ましい農村の姿として、あなたは何を期待しますか

最も多かったのは「米や野菜などの食料を供給するところ」、次に「緑資源を維持し、大気、水などを浄化するところ」そして「美しい自然や景観が保たれ、休養、保養に役立つところ」と続き、日々の生活や心身を支えうるおす存在として期待されていることがわかります。



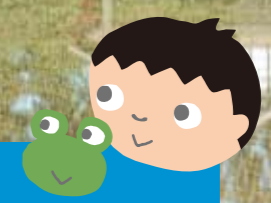
みなさんのご意見をお寄せください。



安み
心ん
なな
に
毎日は、

農
村
か
ら
広
が
つ
て
い
ま
す。

守り、育み、伝えよう。
 とやまの農業・農村が持つ多面的機能



みんなに安心な毎日は、 農村から広がっています。

農業・農村には、お米や野菜など食料を生産する大切な役割があります。
でも、それだけではありません。

水田は洪水を防ぎ、地下水を養い、また農業用水は火災の消火や消流雪に利用されるなど、
さまざまな面から私たちの生活を支えています。

このような「農業・農村が持つ多面的機能」は、富山県に暮らす私たちみんなの“財産”です。

そこで県では独自の手法を取り入れながら、多面的機能の評価額を試算しました。

もちろん評価を試算した機能はごく一部に過ぎません。

とりわけ農村が私たちに与えてくれる心身のリフレッシュや癒し、

農村の集落が守り伝える伝統文化、

また多様な学びの場としての側面など、計算できない恩恵も

たくさんあることを忘れてください。

みなさんには評価をきっかけに

農業・農村の大切を実感してほしいのです。

そして、そのはかり知れない価値を

今こそ見つめ直してみませんか。

まもる

〔県土の保全〕

洪水防止機能

水田は雨水を溜めて河川に流れ出る量を調整する役割を果たしています。もっと整備を進めていけば、あぜが高くなって、さらに水を溜める能力が大きくなります。

ささえる

〔生活環境の改善〕

地域用水機能

農業用水は冬は消流雪用水に利用されるほか、万一火災が起きたときは消火用水としても使われるなど、さまざまなかたちで地域に利用され、毎日の生活を支えています。

はぐくむ

〔自然環境の保全〕

クリーンエネルギー供給機能

富山県の地形は急勾配で農業用水にも大きな落差があり、年間を通して水量も豊富です。そこで農業用水を利用して県内各地に、環境にやさしい小水力発電所が設けられています。

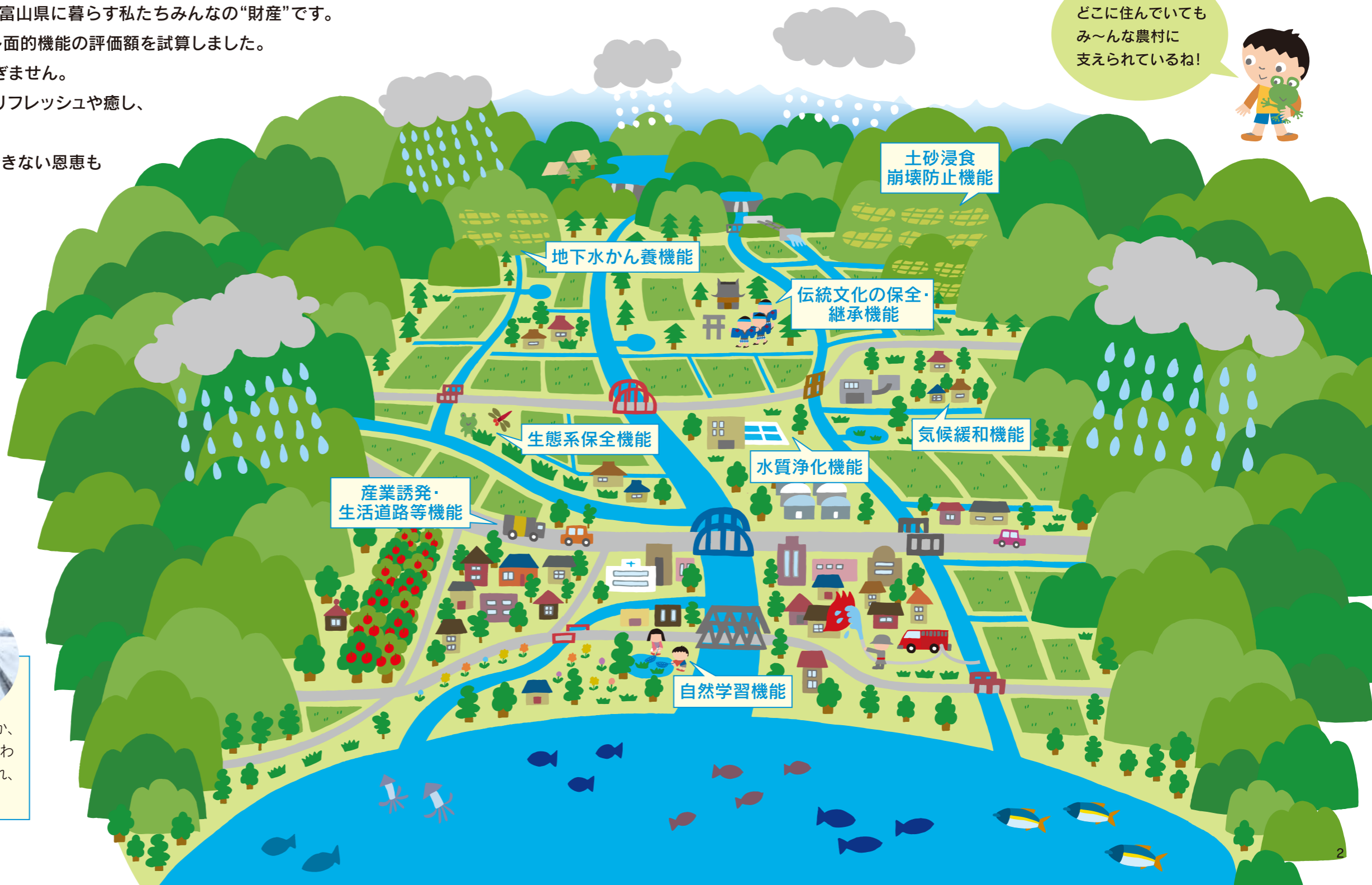
いやす

〔保健休養・遊び、 伝統文化の保全・継承、情操教育〕

リフレッシュ・癒し機能

田んぼや用水路、ため池やダムなど、きれいな水や緑に恵まれた農村の環境は、人が自然とふれあい安らぐ場を提供し、私たちの心にうるおいとゆとりを与えてくれます。

どこに住んでいても
み～んな農村に
支えられているね!



まもる

毎日の安心と安全を守ります。

県土を まもる

洪水を防ぎます

水田は周りをあぜに囲まれており、雨が降ると川に流れ出さずにいったん雨水を溜めてくれます。水はその後ゆっくり流れ出すので川は急激に増水せず、下流は洪水から守られるのです。



洪水防止機能
244億円



ほ場整備された水田(南砺市 北山田北部地区)

ほ場整備が進むと、水田の貯水能力も高まります。あぜが高くなって、県内の田んぼの貯水量は約7,600万㎡増えました。これは東京ドーム39杯分に相当します！

地すべりや土砂崩れを防ぎます

山間地の棚田が整備されると耕作放棄が防止でき、土壌の浸食や崩壊を防ぐことにつながります。また水田の貯水は川への土砂の流出も抑えるので、土砂災害を防いでいます。



土砂崩壊を防止している棚田(富山市 山田 宿坊)

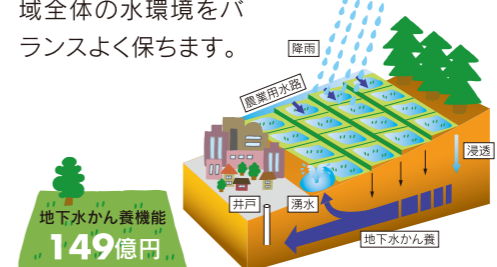
はぐくむ

自然と調和した、豊かさを育みます。

自然環境を はぐくむ

地下水の源になります

水田にたくわえられた農業用水や雨水は地中へしみ込んで地下水や川の水資源になり、流域全体の水環境をバランスよく保ちます。



たくさんの水をたくわえる水田(砺波市)

富山県の農地の約70%が水田に利用されており、水田から地下水がたくわえられるので、地盤沈下を防ぎつつ地下水も活用されています。

クリーンエネルギーをつくります

立山連峰をはじめ急峻な山々や急流河川と扇状地が広がる富山県では、急勾配の地形を豊富な水が流れ、農業用水にも大きな落差が生じます。このような特色を生かして、農業用水を利用した水力発電が県内30か所で行われており、年間約40万MWH(県内全世帯が使用する電力量の約25%相当)が発電されています。化石燃料に頼らず、CO2削減にも役立つ水力発電。農村ではクリーンなエネルギーもつくられているのです。



環境にやさしい小水力発電所(南砺市 白中発電所)

クリーンエネルギー機能
64億円

ささえる

地域の便利や元気を支えます。

生活環境を ささえる

消火や消流雪を支えます

扇状地にはりめぐらされた農業用水路には年中水が流れ消火に利用されたり、冬の通学や生活を支える流雪水路として活躍します。



農業用水路を利用した除排雪

農道は地域に役立ちます

農道が整備されると、農村だけでなく地域全体の生活が便利になります。また交通網の充実、さまざまな産業の活性化にもつながります。



農道を利用して通学する子どもたち(砺波市)

いろんな面で
たのしいぞ！

小さな命にも
地球にも
やさしいね

生きものの営みを育みます

農業用水路や水田などには、無数のさまざまな生き物がすんでいます。農村が守られることで、自然の中に生きる貴重な命たちも守られ育まれるのです。

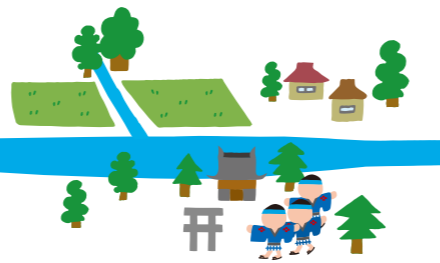
生態系保全機能
48億円



子どもたちによる生き物調べ

国指定天然記念物のイタセンバラ

いやす



人の心と体を、癒す力があります。

心身の休養と遊び

リフレッシュし癒されます

きれいな水や緑、澄んだ空気などに恵まれた農村環境、用排水路、ため池やダムなどは、だれもが自然とふれあい、心が安らぐ場として親しまれています。

白鳥とふれあう 富山市 野中

ほ場整備後の田んぼに冬も水をはったところ、たくさんの白鳥が飛来するようになり、今や“白鳥の里”として多くの人々が観光に訪れ、地元の針原小学校では周辺の美化活動にも取り組んでいます。



リフレッシュ・癒し機能
48億円

ほ場整備された田んぼに飛来する白鳥 (富山市 野中)

伝統文化を受け継ぐ

歴史を守り伝えます

農村では、自然への感謝や、災害が起きないよう願う祭りなどの文化が、長い歴史の中で伝えられてきました。農村を守ることは貴重な伝統文化の継承にもつながります。

心伝わる「ねつおくり」 南砺市 福光

子どもたちが「ネットオクルバイ」と囃して笹竹で田んぼを払い、稲の病害虫退治を願う「ねつおくり」。江戸時代から続く伝統行事は、地域の子どもの心をつないで受け継がれ続けています。



伝統文化の保全・継承機能
48億円

伝統的な農村のまつり ねつおくり (南砺市)

感性と知性が育つ

自然から学びます

先人たちが築き上げた農業用水施設の歴史や、用水や田んぼ、ため池などが織りなす農村の豊かな自然は、子どもたちにとって、まさに生きた教材になります。

農業の知恵を体験 県内各地

太陽の恵みを生かして稲をおいしく乾燥する伝統の“はさがけ”など、知恵や工夫が数多い農業のすばらしさを県内各地で体験でき、だれもが農業の魅力や価値を実感できます。



自然学習機能
45億円

農業の大切さを学ぶ農業体験(氷見市)

緑につつまれるとほっとするな～



広がる！みんなの“財産”を守り伝える活動

今や高齢化などが進み農家だけで農村環境を守り続けることが難しく、地域住民も一緒に支えようとする動きが広がっています。草刈りや“江ざらい”（農業用水路の掃除）、缶拾い、花壇づくりなど、活動の内容はさまざま…。みんなの財産を守る地元の活動に、あなたも参加してみませんか！



農業・農村の多面的機能の評価額

金額で表せる価値だけでもこんなにたくさんあるんだね！



富山県の農業・農村の多面的機能について、さまざまな角度から再評価(前回 平成14年/今回:平成20年)したところ、評価額の総額は年間約918億円にのぼり、県民(人口約110万人として)1人あたり年間約8万円以上の恩恵を受けているという結果になりました。

(年間)

区分	機能名	評価額	役割	評価手法	
まもる	県土の保全	洪水防止機能	244億円	ほ場整備で水田のあぜが整備されると、雨水を溜める機能が高まり洪水を防ぐ 排水が改良されて公共施設の浸水被害を防ぐ	[代替法] [直接法]
		土砂浸食崩壊防止機能	18億円	農地が耕作され続けると土壌の浸食を抑えられる	[代替法]
			(60億円)	山地の水路が維持されることにより山地崩壊を防ぐ	[直接法]
ささえる	生活環境の改善	水質浄化機能	9億円 (5億円)	集落排水により害虫の発生を防ぐとともに、農業用水が流れることにより都市部の水路を希釈浄化する 集落排水事業により農業用排水の汚濁を防ぐ	[代替法] 県独自評価
		地域用水機能	13億円	農業用水は火災時の消火用水や冬期間の消流雪用水に利用されている	[代替法] 県独自評価
		産業誘発・生活道路等機能	230億円	農道が整備されると地域住民も便利になり、産業が誘発されて地域が活性化する	[ヘドニック法] 県独自評価
はぐくむ	自然環境の保全	地下水かん養機能	149億円	水田の水は地下に浸透して地下水になるとともに、河川の流れを安定させる	[代替法]
		クリーンエネルギー機能	64億円	農業用水による水力発電は、化石燃料を使わないエネルギーを提供し、CO2削減に有効	[代替法] 県独自評価
		気候緩和機能	2億円	稲が育つ水田は夏の気温を抑え、冷房効果がある	[代替法]
		生態系保全機能	48億円	農業用排水の水路やため池は、水生動植物の生態系を支える	[CVM] 県独自評価
いやす	保健休養・遊び	リフレッシュ・癒し機能	48億円	水と緑豊かなため池やダムは心のやすらぎ、自然とのふれあいの場を提供	[CVM] 県独自評価
	伝統文化の保全・継承	伝統文化の保全・継承機能	48億円 (3億円)	集落の伝統文化を受け継ぐ基盤となる 貴重な埋蔵文化財が保全され、その発見・発掘が歴史の解明に役立つ	[CVM] 県独自評価 [直接法] 県独自評価
		情操教育	自然学習機能	45億円	農業用水の歴史や、そこで育まれる自然生態系などは貴重な学習教材
合計		918億円	※評価額の()は参考評価として合計に含めていない。		

注)代替法………評価の対象となる機能を市場で取引されている物やサービスで置き換え、これらの価格により機能の経済的評価を行う手法
注)CVM………仮想状況を設定したアンケート調査によって、機能等の評価に対して回答者側が支払っても良いと思う金額(支払意思額)を引き出し、その結果で推定する手法
注)ヘドニック法…投資便益が土地などの財もしくはサービスの評価額に反映されるというキャピタリゼーション(資本化、投資)仮説に基づく評価手法